

認定調査票（特記事項）

0231

市区町村コード 15204

対象者番号 0000012345

申請回目 02 回目 調査回目 01 回目 調査日 2025 年 07 月 10 日

1. 身体機能・起居動作に関連する項目についての特記事項
1-1 麻痺等の有無、1-2 拘縮の有無、1-3 寝返り、1-4 起き上がり、
1-5 座位保持、1-6両足での立位、1-7 歩行、1-8 立ち上がり、
1-9 片足での立位、1-10 洗身、1-11 つめ切り、1-12 視力、1-13 聴力
2. 生活機能に関連する項目についての特記事項
2-1 移乗、2-2 移動、2-3 えん下、2-4 食事摂取、2-5 排尿、2-6 排便、
2-7 口腔清潔、2-8 洗顔、2-9 整髪、2-10 上衣の着脱、
2-11 ズボン等の着脱、2-12 外出頻度
3. 認知機能に関連する項目についての特記事項
3-1 意思の伝達、3-2 毎日の日課を理解、3-3 生年月日を言う、
3-4 短期記憶、3-5 自分の名前を言う、3-6 今の季節を理解、
3-7 場所の理解、3-8 徘徊、3-9 外出して戻れない
4. 精神・行動障害に関連する項目についての特記事項
4-1 被害的、4-2 作話、4-3 感情が不安定、4-4 昼夜逆転、
4-5 同じ話をする、4-6 大声を出す、4-7 介護に抵抗、4-8 落ち着きなし、
4-9 一人で出たがる、4-10 収集癖、4-11 物や衣類を壊す、
4-12 ひどい物忘れ、4-13 独り言・独り笑い、4-14 自分勝手に行動する、
4-15 話がまとまらない
5. 社会生活への適応に関連する項目についての特記事項
5-1 薬の内服、5-2 金銭の管理、5-3 日常の意思決定、
5-4 集団への不適応、5-5 買い物、5-6 簡単な調理
6. 特別な医療についての特記事項
6 特別な医療
7. 日常生活自立度に関連する項目についての特記事項
7-1 障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）、
7-2 認知症高齢者の日常生活自立度

1-1	四肢に麻痺はなく、すべての確認動作が行えた為「1」とした。 両足とも血行不良で冷たく、また、利尿剤を服用し多少は改善されていたが浮腫も見られていた。
1-2	各関節に拘縮はなく、すべての確認動作が行えた為「1」とした。
1-3	柵のないベッドで就寝し、何も掴まらずに寝返りができる為「1」とした。
1-4	両下肢を上げ、下ろす反動で起き上がろうとするが、それだけでは起き上がれず、途中から両手を ベッドにつき加重しながら起き上がる為「2」とした。
1-5	支えなしに10分程度は座位保持ができる為「1」とした。 日頃は、背もたれ付きのソファに寄りかかって過ごしている。
1-6	支えなしに10秒程度は両足での立位保持ができる為「1」とした。
1-7	ゆっくりだが、何も掴まらずに継続5m程度の歩行ができる為「1」とした。 日によって気分や体調に波があり、ほんの数日前は下肢の浮腫みもひどくほとんど歩けなかったと のこと。夜間にベッドからトイレに行く際は、手すりに掴まりながら廊下を歩いている。
1-8	椅子の肘掛けに掴まりしっかりと加重しながら立ち上がる為「2」とした。 一度では立ち上がれず、何度か試行してやっと立ち上がっていた。床や畳からの立ち上がりはできない とのこと。
1-9	柱に片手をつき支えにすれば2、3秒片足での立位保持ができる為「2」とした。
1-10	毎日、自宅で入浴し、介助なく洗身している為「1」とした。 湯船に浸かりながら体をさっと擦る程度だと妻からの話だが、不適切な状況は見られなかった。
1-11	手足の爪をすべて自分で切っている為「1」とした。
1-12	約1m離れた視力確認表の図や眼鏡をかければ小さい文字が見え、生活に支障はない為「1」とした。
1-13	普通の声で話す聞き取れた為「1」とした。
2-1	日常生活で移乗行為は発生しない。移乗することを想定し、1群の状況から何かに掴まれば介助なく 移乗できると判断し「1」とした。
2-2	自宅内の移動は自立している為「1」とした。
2-3	嚥下はできる為「1」とした。

※ 本用紙に収まらない場合は、適宜用紙を追加して下さい